

第3期三豊市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対するパブリックコメントの実施結果

1. 募集期間 令和7年2月19日（水）～令和7年3月20日（木）
2. 募集結果 提出者数1名、提出件数5件
3. 意見及び回答

	意見	市回答
1	<8ページ目 1－2. 数値目標「自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合（自己有用感）」について> 自己有用感の目標が65.0%なのは2022年度の結果からすると野心的な目標に感じるので良いと思います。目標達成のために実施する内容についても続報を掲載いただきたいです。	自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合（自己有用感）とは、毎年4月に文部科学省が全国一斉に小学生、中学生を対象として行う「全国学力・学習状況調査」の質問項目の1つです。 KPI※の達成状況や目標達成のために実施した内容については、毎年夏ごろにホームページにおいて公表する予定です。
2	<9ページ目 1－4.（1）子育てについて> KPIの1つに小児科の件数を加えていただきたいです。三豊市民病院にて曜日ごとに色んな先生が来てくださっているのは理解しています。しかし、かかりつけ医のような安心感を持って子育てができるよう小児科病院を設置いただきたいです。	小児救急医療を含む小児医療については、香川県保健医療計画において三豊市・観音寺市の両市で一つの三豊圏域として設定され、医療連携体制の構築が図られています。小児科医は全国的に不足している現状であり、現在、観音寺市内には小児科を専門とする医療機関はありますが、三豊市内にはありません。このことから三豊市では公立病院であるみとよ市民病院に外部から医師を招き、月曜日から金曜日までの午後、小児科を開設しているところです。今後もみとよ市民病院での小児科診療を充実させるため、引き続き小児科医の確保に努めてまいります。また、救急対応としては、観音寺市内の三豊総合病院が毎晩19時から23時まで、隣接する善通寺市内の四国こどもとおとなの医療センターが毎日24時間体制で、小児救急医療を行っています。ご意見のように小児科病院を三豊市が設置することは現状では困難ではありますが、三豊市で安心感を持って子育てができるよう、こうした近隣市における小児科専門医療機関及び小児救急医療に関する情報の周知に努めてまいります。 なお、KPI※の1つに小児科の件数を加えていただきたいというご意見についてですが、現時点で三豊市が小児科病院を設置する計画はないことから、KPIを設定することは適切でないと考えます。
3	<27ページ目 2, 3, 4の指標項目について> 指標が社会増減数となっています。ひとくちに社会増減数と言っても出生、死亡、転入、転出、と理由が色々あると思いますので細分化したほうが2028年度に考察しやすいように感じます。	人口の変動を説明する指標として自然増減数と社会増減数があり、自然増減数は出生数と死亡数の差、社会増減数は転入数と転出数の差を表しています。27ページは移住・定住施策に関するKPI※のため、転出超過が続いている本市の状況を踏まえると、社会増減数を令和10年度に±0まで高める目標値を設定することが適当だと考えます。 また、出生数については、別途、8ページにおいて令和7年度から令和10年度まで4年間の累計として目標値1,084人を設定しています。
4	<全体について> アンケートを実施して、その解答項目の割合を目標値にしているものがいくつかあるように思います。アンケート回答率についても目標値に加えていただいたほうが良いと感じました。	数値目標は、戦略期間（本計画においては令和7年度～令和10年度の4年間）における各取組の結果を測る指標として設定し、総合戦略に掲載しました。 アンケート回答率は、取組そのものの結果を測る指標ではないため、総合戦略に掲載することは適当ではありませんが、回答率を改善することは必要だと考えます。今回のアンケートは2,500人の無作為抽出により実施しましたが、今後はより多くの人の意見を集めるため、デジタルを活用したアンケートの実施方法等を検討してまいります。
5	<全体について> 現時点で基準値が無いものや22年度から28年度で20%以上高い目標が設定されているものがあるように思います。そういった内容は例えば26年度などに中間報告されるのでしょうか？中間の状況によって取り組みの修正が必要になる場合もあるのではないかと気になりました。	現時点で基準値を設定していないものもありますが、効果検証を通して新たに数値を設定できるものについては、検証結果等と併せて公表する予定です。 進行管理については、外部有識者で組織する「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」において、目標値の達成状況や取組内容の進捗状況の把握を行い、その結果を踏まえて担当部署により取組内容の見直しを図ってまいります。また、推進委員会での検証結果等については、会議の要旨と共に毎年夏ごろホームページにおいて公表する予定です。

※KPI：Key Performance Indicatorの略で、業績を評価し管理するための定量的な指標のこと。重要業績評価指標ともいう。